

京都九条病院 年 報

2011 年度（平成 23 年度）

医療法人同仁会（社団）
京都九条病院

ご 挨拶

あの猛暑の夏から、一変して涼しさを超えて寒ささえ感じられる季節になりました。日頃は、京都九条病院および同仁会関連施設に対しまして何かとご支援、ご鞭撻を賜り御礼申し上げます。

さて、この度ここに「京都九条病院年報」の発行を行なう運びとなりました。京都九条病院は、これまでも「ホームページ」「広報誌：讃歌」「病診・病病連携セミナー」「業績集」などさまざまな形で当院の現状を皆様方にご報告させていただいておりました。しかし、当院事業のより詳細な部分や、数量的な統計などをご報告するまでは至っておりませんでした。そこで、いささか遅きに失した感がございますが、今後、一年間の事業報告や病院内の取り組みなどをさらに詳細にご報告することにより、当院に対するご理解を一層深めていただければと考え本誌の発刊に至りました。特に最近、当院からの学会や研究会での発表は多くなり、医師のみならず看護師、薬剤師、検査技師、リハビリ専門職、事務職からも積極的に、地域の学会、研究会のみならず全国の会に発表、参加し、最新の知識の吸収に努めております。この業績から当院の医療に対する姿勢を読み取っていただければありがたく存じます。

今回は第1号で、まだまだ十分なものとは申せませんが、今後、毎年改良を重ね、内容の充実を目指してまいります。この「京都九条病院年報」が、当院のタイムリーな状態をこれまで以上に知っていただける資料としてご活用いただければ幸いです。

末筆ですが、皆様方の益々のご健勝とご発展をお祈りいたしますとともに、当院に対します一層のご支援、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

平成 24 年 11 月 7 日

京都九条病院
院 長 山 木 垂 水

医療法人同仁会（社団）京都九条病院

年 報

● ● ● 目 次 ● ● ●

統 計 (2011年4月～2012年3月)

患者数・救急数・平均在院日数	3
診療圏分布	4
生理検査件数	5
臨床検査件数	6
臨床工学検査件数	7
放射線科検査件数	8
科別手術件数	9
内視鏡検査件数	10
リハビリテーション部	11
薬剤部	12

業 績 集

2007年1月1日～12月31日	15
2008年1月1日～12月31日	19
2009年1月1日～12月31日	25
2010年1月1日～12月31日	31
2011年1月1日～12月31日	37

統 計

2011 年 4 月～2012 年 3 月
(平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月)

患者数・救急数・平均在院日数

平成23年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来患者数	5,703	5,859	5,703	5,874	5,974	5,629	6,047	6,136	6,353	6,205	6,082	6,261	71,826
新患者数	1,001	1,065	956	1,001	933	869	980	875	980	1,130	1,106	1,024	11,920
入院患者数	5,491	5,727	5,647	5,958	5,721	5,288	5,814	5,650	5,676	5,948	5,580	5,714	68,214
入院数	237	236	273	238	253	227	275	259	256	278	240	293	3,065
退院数	238	247	247	262	253	234	257	263	273	250	251	308	3,083
救急搬入件数	159	136	170	162	149	114	128	116	152	154	131	136	1,707
救急入院件数	93	68	96	90	81	72	76	67	74	92	67	74	950
平均在院日数	17.9	18.7	16.9	18.6	17.6	17.6	17.3	17.4	17.8	19.0	18.5	14.9	17.7

診療圏分布

外来

	件数	比率 (%)
南 京 区	8,749	66.23%
左 京 区	167	1.26%
右 京 区	540	4.09%
北 京 区	117	0.89%
東 山 区	102	0.77%
上 京 区	82	0.62%
中 京 区	235	1.78%
西 京 区	470	3.56%
下 京 区	471	3.57%
伏 見 区	692	5.24%
山 科 区	108	0.82%
京都市内の占める件数と割合 11,733 件 88.81%		
向 日 市	211	1.60%
長 岡 京 市	86	0.65%
宇 治 市	108	0.82%
亀 岡 市	115	0.87%
城 陽 市	41	0.31%
大 山 崎 町	21	0.16%
その他の府内	164	1.24%
京都市内の占める件数と割合 12,479 件 94.46%		
滋 賀 県	143	1.08%
大 阪 府	206	1.56%
兵 庫 県	54	0.41%
奈 良 県	24	0.18%
広 島 県	6	0.05%
その他の府県	163	1.23%
不 明	136	1.03%
13,211		100.00%

入院

	件数	比率 (%)
南 京 区	1,974	65.08%
左 京 区	34	1.12%
右 京 区	173	5.70%
北 京 区	37	1.22%
東 山 区	29	0.96%
上 京 区	37	1.22%
中 京 区	90	2.97%
西 京 区	77	2.54%
下 京 区	118	3.89%
伏 見 区	163	5.37%
山 科 区	22	0.73%
京都市内の占める件数と割合 2,754 件 90.80%		
向 日 市	45	1.48%
長 岡 京 市	37	1.22%
宇 治 市	24	0.79%
亀 岡 市	61	2.01%
城 陽 市	9	0.30%
大 山 崎 町	5	0.16%
その他の府内	20	0.66%
京都市内の占める件数と割合 2,955 件 97.43%		
滋 賀 県	21	0.69%
大 阪 府	28	0.92%
兵 庫 県	9	0.30%
奈 良 県	4	0.13%
東 京 都	8	0.26%
その他の府県	5	0.16%
不 明	3	0.10%
3,033		100.00%

平成 23 年度生理検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	件数
超音波	腹部(甲状腺、乳腺含む)	108	157	156	171	175	145	180	130	145	132	160	1,787
	心臓	95	112	108	99	102	95	134	108	138	116	135	1,355
	血管(頸部、上下肢)	81	132	114	111	87	82	104	165	110	134	127	1,376
心電図	344	381	390	390	390	355	444	400	386	421	360	480	4,741
ホルター心電図	15	16	21	15	25	13	16	19	20	20	10	15	205
トレットミル	0	1	1	3	3	2	0	3	1	1	2	0	17
肺機能(ドック・健診含む)	25	59	20	39	34	37	44	38	31	14	11	11	363
脳波	20	15	22	18	17	12	12	9	8	14	26	15	188
誘発電位、伝導速度	13	9	5	7	8	7	7	4	13	9	9	6	97
血圧脈波	9	19	9	11	17	10	19	34	30	26	19	24	227
聴力(ドック・健診含む)	40	22	28	26	29	24	21	25	18	25	25	50	333
重心動揺	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	8
眼底カメラ(ドック・健診含む)	0	33	16	33	24	31	41	26	20	11	11	9	255
総件数	750	956	891	923	912	813	1,022	964	875	958	850	1,038	10,952

平成 23 年度 臨床検査件数

項 目 名	2011 年度
	件数
生化学的検査	22,963
血液学的検査	23,366
免疫学的検査	19,288
一般検査	4,125
腫瘍関連検査	2,247
肝炎検査	2,547
病理学的検査（細胞診）	198
ウイルス感染症	933
微生物学的検査	1,284
内分泌学的検査	1,163
アレルギー検査	30
輸血検査	1,374
染色体・細胞性免疫検査	6
薬物検査	288
病理学的検査（組織）	883
項 目 名	2011 年度
	件数
尿沈渣	3,319
HCV 抗体	2,496
HBs 抗原	2,501
HBs 抗原	17
RPR	2,265
TPHA	2,121
RA	142
インフルエンザ	1
クロスマッチ	442
トロポニン T	215
ノロウイルス	6
ラピチェック	127
血液ガス	82
アンモニア	189
CEA	1,701
CA19-9	1,546
薬剤感受性	1,099
HIV	1,043
TSH	439

平成 23 年度臨床工学検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ペースメーカー植え込み	0	1	2	0	0	1	1	1	1	1	2	2	12
ペースメーカー電池交換	0	1	0	2	0	0	1	0	0	1	0	2	7
体外式ペースメーカー	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	1	3	9
ペースメーカー外来	42	43	41	44	45	46	33	56	33	53	42	45	523
血液透析	31	44	30	39	67	56	48	44	32	36	56	68	551
持続緩徐式血液濾過	4	5	13	13	30	12	0	0	2	5	3	2	89
腹水濾過濃縮再静注	2	1	3	1	2	3	2	2	0	1	1	4	22
血液成分除去療法	4	8	7	5	0	0	0	0	7	3	0	0	34
血漿交換療法	0	0	0	0	0	1	0	3	1	6	1	0	12
自己血回収輸血	3	6	8	4	4	1	6	8	2	8	4	7	61
I A B P	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	2	6
経皮の心肺補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成 23 年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CAG	4	11	21	6	15	13	12	9	19	10	20	25	165
PCI	5	4	7	4	4	12	16	10	5	11	6	16	100
PTA	0	1	0	0	0	0	2	0	5	1	2	1	12
脳アンギオ	12	8	9	11	4	9	7	8	8	6	8	1	91
腹部アンギオ	3	2	2	2	3	0	1	1	3	4	1	2	24

平成 23 年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来透析	302	319	328	363	352	352	356	357	366	361	315	331	4,102

平成 23 年度放射線科検査件数

XP	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
頭頸部	49	50	33	41	38	60	51	52	45	52	48	55	574
椎体	84	75	71	72	74	66	81	68	90	72	80	92	925
胸腹部	642	613	629	646	716	601	718	680	647	673	693	692	7,950
体幹部	178	215	182	182	146	153	152	119	162	217	169	171	2,046
四肢	365	411	307	319	259	307	367	346	389	374	392	434	4,270
ポータブル(病室)	143	143	128	176	229	169	201	189	159	184	131	91	1,943
ポータブル(手術室)	33	37	34	36	33	29	37	30	29	37	34	41	410
DEXA	6	9	7	4	6	3	10	7	3	7	11	11	84
マンモグラフィ	12	30	34	30	21	34	93	46	33	26	31	62	452
計	1,512	1,583	1,425	1,506	1,522	1,422	1,710	1,537	1,557	1,642	1,589	1,649	18,654

TV	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
胃透視	3	3	28	10	12	26	12	10	5	7	11	7	134
注腸	0	1	2	2	1	0	1	0	1	2	0	3	13
その他造影	16	10	8	14	11	8	8	12	19	11	11	5	133
非造影	4	3	4	2	4	4	4	6	5	3	1	3	43
整形	4	1	7	4	2	1	4	1	4	3	0	2	33
嚥下造影	0	3	1	0	0	1	0	2	2	0	0	1	10
計	27	21	50	32	30	40	29	31	36	26	23	21	366

Angio	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
頭	8	6	3	4	5	11	10	3	1	4	8	15	78
心臓	29	18	31	24	27	14	19	13	11	21	20	13	240
腹	2	1	7	1	1	2	4	7	4	4	0	0	33
四肢	3	0	0	2	1	0	1	3	0	0	3	0	13
計	42	25	41	31	34	27	34	26	16	29	31	28	364

CT	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
頭頸部	283	257	271	277	253	242	238	239	249	248	244	224	3,025
胸部	83	102	102	76	75	84	109	76	83	89	88	74	1,041
胸腹部	174	177	200	202	213	181	216	178	252	256	181	220	2,450
体幹部	6	7	11	9	8	9	7	9	10	9	12	5	102
四肢	3	12	7	4	1	5	9	10	13	14	10	14	102
計	549	555	591	568	550	521	579	512	607	616	535	537	6,720

MR	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
頭頸部	141	149	160	136	117	109	140	133	140	137	119	141	1,622
他院紹介	15	15	26	28	24	25	26	25	25	21	23	24	277
椎体	19	19	15	14	18	9	21	19	17	1	20	26	198
他院紹介	21	15	22	28	14	25	22	28	20	22	26	34	277
体幹部	22	26	35	21	27	26	20	29	29	30	43	30	338
他院紹介	16	13	10	19	6	11	13	12	19	12	19	18	168
四肢	22	19	12	21	19	11	19	21	29	21	29	30	253
他院紹介	23	17	23	24	26	28	23	16	21	13	20	19	253
計	279	273	303	291	251	244	284	283	300	257	299	322	3,386

平成23年度 科別手術件数

月	手術件数 (臨時数)	外科	整形外科	脳外科	循環器科・その他	月間合計
4	20 (3)	20 (3)	32 (4)	7 (5)	1 (1)	60 (13)
5	20 (5)	20 (5)	31 (1)	8 (5)	4 (2)	63 (13)
6	26 (7)	26 (7)	30	6 (3)	2	64 (10)
7	20 (1)	20 (1)	24	10 (5)	2	56 (6)
8	28 (13)	28 (13)	20	6 (3)	2	56 (16)
9	23 (5)	23 (5)	25	9 (3)	1	58 (8)
10	18	18	26 (1)	3	4 (2)	51 (3)
11	22 (4)	22 (4)	29 (1)	7 (1)	1	59 (6)
12	18 (3)	18 (3)	36	6 (3)	3	63 (6)
1	21 (2)	21 (2)	36	7 (3)	4	68 (5)
2	18 (1)	18 (1)	33 (1)	5 (2)	4 (1)	60 (5)
3	25 (5)	25 (5)	37 (1)	3	7 (3)	72 (9)
科別合計	手術件数 (臨時数)	259 (49)	359 (9)	77 (33)	35 (9)	730 (100)

心カテ	腹部 アングリオ	脳 アングリオ	月間合計
8	2 (1)	11 (5)	21 (6)
15 (2)	2	7 (3)	24 (5)
26 (1)	2	8 (3)	36 (4)
10	2	10 (2)	22 (2)
19	2	2	23
25 (3)	0	7 (2)	32 (5)
34 (10)	1	6 (5)	41 (15)
19 (1)	1	7 (2)	27 (4)
22 (2)	3	7 (2)	32 (4)
21 (2)	3	5 (2)	29 (4)
28 (3)	1	7 (2)	36 (5)
41 (4)	2	1	44 (4)
268 (28)	21 (1)	78 (28)	367 (58)

総合計

1,097 (158)

平成 23 年度 内視鏡検査件数 (企業健診・ドックを含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
上部関係	胃カメラ	79	123	140	116	124	134	128	100	141	122	125	146	1,478
	一般健診	90	86	116	110	85	111	158	118	70	70	78	45	1,137
	通常検査合計	169	209	256	226	209	245	286	218	211	192	203	191	2,615
	止血術	5	4	5	6	1	1	9	3	5	9	1	2	51
	内視鏡の上部イレウス管挿入	2	2	1	5	2	2	0	2	3	2	2	1	24
	EVL	0	0	0	1	2	0	2	1	2	0	2	5	15
	EISL	2	0	0	4	1	0	3	3	2	1	3	6	25
	ESD (上部)	1	4	1	4	3	4	1	1	3	4	1	1	28
	処置合計	10	10	9	20	10	9	16	11	16	20	10	15	156
	胃ろう造設術	2	1	2	0	3	8	2	3	3	0	7	5	36
	胃ろう交換術	4	8	5	5	5	8	12	14	5	7	6	9	88
	胃ろう関係合計	6	9	7	5	8	16	14	17	8	7	13	14	124
	上部内視鏡総合計	185	228	272	251	227	270	316	246	235	219	226	220	2,895
	下部関係	通常検査	46	50	70	68	57	53	71	56	60	42	54	59
EMR		5	6	6	2	10	7	10	12	9	8	10	8	93
止血術		0	2	2	3	0	0	0	0	0	0	2	6	15
イレウス管挿入		0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	0	6
ESD		2	0	2	1	2	3	1	3	1	3	2	0	20
処置合計		7	8	10	8	18	12	13	18	13	14	16	14	151
下部内視鏡総合計		53	58	80	76	75	65	84	74	73	56	70	73	837
ERCP		0	1	4	4	4	0	2	1	3	1	2	4	26
EST		0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
EST + EML		0	1	1	2	3	1	0	0	2	1	1	1	13
胆・膵関係	EML	0	0	3	1	4	1	0	0	0	2	1	2	14
	ERBD	2	2	1	1	4	3	0	1	3	1	4	2	24
	EMS	1	0	0	0	0	2	0	1	1	1	1	0	7
	処置合計	3	4	6	8	12	7	0	2	7	5	7	5	66
	胆・膵系内視鏡総合計	3	5	10	12	16	7	2	3	10	6	9	9	92
	DBE (処置を含む)	4	1	2	2	0	0	2	0	1	3	1	3	19
	CE	0	1	1	3	1	3	0	1	0	3	2	5	20
	小腸内視鏡総合計 (当院施行分)	4	2	3	5	1	3	2	1	1	6	3	8	39
	CE 読影依頼	5	2	4	5	3	2	4	8	2	2	7	9	53
	内視鏡総合計 (当院施行分)	245	293	365	344	319	345	404	324	319	287	308	310	3,863

平成 23 年度 リハビリテーション部

《入院》

	脳血管疾患等		脳血管 ：廃用		運動器 (I)		運動器 (II)		呼吸器		早期 加算	ADL 加算	総合実施 計画書	退院時 指導	退院前 訪問指導	合計
	健保	労災	健保	労災	健保	労災	健保	労災	健保	労災						
P T 単位数	10,922	243	16,239	401	15,591	401	1,606	0	0	0	24,037	641				45,002
O T 単位数	8,651	226	2,516	210	2,023	210	202	0	0	0	5,866	434				13,828
S T 単位数	4,145	125	2,700								2,758	0				6,970
合計単位数	23,718	594	21,455	611	17,614	611	1,808	0	0	0	32,661	1,075	2,409	767	2	65,800

《外来》

	脳血管疾患等		脳血管 ：廃用		運動器 (II)		呼吸器		総合実施 計画書	合計	総合計
	健保	労災	健保	労災	健保	労災	健保	労災			
P T 単位数	227	5	241	164	3,403	164	0	0		4,040	49,042
O T 単位数	381	8	164	263	2,777	263	0	0		3,593	17,421
S T 単位数	65	0	23	0	0	0	0	0		88	7,058
合計単位数	673	13	428	427	6,180	427	0	0	910	7,721	73,521

平成 23 年度 薬剤部

年間合計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
------	-----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

処方箋枚数

外来調剤	433	36.1	28	50	20	37	29	30	35	26	32	53	62	31
	1日平均		0.9	1.6	0.7	1.2	0.9	1.0	1.1	0.9	1.0	1.7	2.1	1.0
入院調剤	36,738	3,061.5	2,940	2,975	3,027	3,018	2,773	2,735	3,224	3,175	3,087	3,115	3,205	3,464
	1日平均		98.0	96.0	100.9	97.4	89.5	91.2	104.0	105.8	99.6	100.5	110.5	111.7
入院注射	84,231	7,019.3	6,897	7,107	5,734	7,273	7,391	6,138	7,246	7,950	7,239	7,757	7,040	6,459
	1日平均		222.9	211.9	191.1	234.6	238.4	204.6	233.7	265.0	233.5	250.2	242.8	208.4

薬剤管理指導料

算定数	2,950	245.8	216	247	243	259	253	225	242	267	254	250	237	257
内、ハイリスク薬管理	1,440	120.0	99	136	112	123	125	116	123	126	106	124	116	134
医薬品安全性情報等管理体制加算	1,980	165.0	150	178	165	169	168	147	158	165	169	173	161	177
退院時薬剤情報管理指導料	1,905	158.8	154	153	146	173	171	135	157	169	166	150	146	185

無菌製剤処理科

1 (悪性腫瘍用剤)	451	37.6	41	36	41	40	39	30	36	45	33	30	40	40
内、外来	341	28.4	29	26	25	34	27	28	31	32	22	26	34	27
2 (高カロリー輸液等)	2,323	193.6	170	126	183	185	184	213	151	245	260	220	193	193

業 績 集

2007年1月～2011年12月
(平成19年1月～平成23年12月)

2007年1月1日～12月31日

著 書

1. 山木垂水：重症頭部外傷 治療・管理のガイドライン 第2版 編集 日本神経外傷学会 医学書院 東京 2007, 3-6 頭部挙上 pp37, 3-10 ステロイド剤 pp44-46, 担当.

原 著

1. 渡邊信佳, 吉野信之, 福田幸久, 藤田信彦：ナビゲーションおよびテンサーシステムを併用した人工関節全置換術 京都医学会雑誌 54: 113-116, 2007.
2. 横島妙子, 吉岡昌美, 鈴木百合子, 横尾重子：看護師が認識する転倒・転落予測の判断基準, 第38回日本看護学会—老年看護—, 115-117, 2007.

学会発表

国際学会

1. N. Yoshino, N. Watanabe, Y. Fukuda, S. Takai : The effect of patellar eversion to the extension and flexion gaps in total knee arthroplasty. 6 th Biennial International Society of Arthroscopy, Knee Surgery. Orthopedick Spotts. 2007. 5. 27-31. Florence, Italy.
2. N. Watanabe, N. Yoshino, Y. Fukuda, N. Fujita, S. Takai : Varus balance becomes predominant at flexion after posterior cruciate-retaining total knee arthroplasty. 20th Annual Congress of International Society for Technology in Arthroplasty 2007. 10. 4-6. Paris, France.

特別講演

1. 羽田哲也：急性冠症候群 ～私の成功例と失敗例～ 第9回長崎再灌流療法研究会 2007. 2. 10, 諫早.
2. 岩瀬 豪：胃ろうの管理 — 栄養管理と NST, カテーテルの長期管理 京都府医師会：在宅医療のための生涯教育シリーズ第1回「胃ろうと栄養管理」 2007. 2. 17, 京都.
3. 羽田哲也：最新の冠インターベンション治療における手技向上ならびにニューデバイスを含めた安全かつ適切な手技の普及および教育 Kanazawa Coronary Conference 2007, 2007. 3. 9-10, 金沢.

シンポジウム

1. 榊原毅彦, 山木垂水, 平井 誠：重症頭部外傷患者に対する積極的脳平温療法と手術療法の併用の有効性 —後期頭部外傷データベースの検討より— 第30回日本神経外傷学会 2007. 3. 16-17, 仙台.

一般演題

1. 野畑佳江, 賀戸宏美, 藤原由紀枝, 渋谷百合子：心臓カテーテル検査オリエンテーション内容の検討 —患者と看護師の意見を比較して—, 第10回京都府看護学会, 2007. 1. 26, 京都.
2. 渡邊信佳, 吉野信之, 福田幸久, 藤田信彦：人工膝関節全置換術後における膝伸展・屈曲位の内外反動揺性の経時的変化 第37回日本人工関節学会 2007. 2. 2-3, 東京.
3. 吉野信之, 渡邊信佳, 藤田信彦, 福田幸久, 高井信朗：PiGalileo navigation systemを用いた Load dependent cut 法による人工膝関節置換術 第37回日本人工関節学会 2007. 2. 2-3, 東京.
4. 井口真弓, 佐藤由美子, 岩瀬 豪：地域連携を目指した PEG チームの活動, 医療マネジメント学会第4回京滋地方会, 2007. 2. 3, 京都.
5. 北野真吾, 渡里 弘：CT機能付き血管撮影装置を用いて 第19回下西集談会 2007. 3. 3, 京都.

6. 渡邊信佳, 吉野信之, 福田幸久, 藤田信彦: ナビゲーションとバランスラーの併用による人工膝関節全置換術 第19回下西集談会 2007. 3. 3, 京都.
7. 佐藤由美子, 井口真弓, 岩瀬 豪: 胃瘻管理に関する現状と今後の課題 ~当院と近隣施設を対象とした勉強会でのアンケート結果より~ 第19回下西集談会 2007. 3. 3, 京都.
8. 稲岡秀陽: リハビリテーション実施患者さまの動向について 第19回下西集談会 2007. 3. 3, 京都.
9. 竹岡 亨, 稲岡秀陽: 脳卒中の予後予測 ~発症時FIMを用いて~ 下西集談会 2007. 3. 3, 京都.
10. 芝田康子, 友沢明德, 三上豊子, 玉垣美帆: チームで取り組む禁煙治療の実践 第19回下西集談会 2007. 3. 3, 京都.
11. 渡邊信佳, 吉野信之, 福田幸久, 藤田信彦: 大腿二頭筋腱を用いてPopliteofibular ligament 再建を施行した1例 第19回関西関節鏡・膝研究会 2007. 3. 3, 大阪.
12. T. Hata: Tips & tricks of TRI China Interventional Therapeutics 2007 2007. 3. 29-4. 1.
13. 羽田哲也: Drug Eluting Stent の問題点 知って得するPCI ~Advanced Technical Course~ 2007. 6. 8, 横浜.
14. 八木なぎさ, 飯開喜代子: 体脂肪と関節痛の関係 ~効果的な外来指導にむけて~ 第42回京都病院学会 2007. 6. 10, 京都.
15. 北野真吾, 渡里 弘: C T機能付き血管撮影装置をもちいて 第42回京都病院学会 2007. 6. 10, 京都.
16. 國仲加代子, 國永智昭, 和田祐子, 堀 真紀, 友沢明德: 患者が有効に利用しうる薬剤情報提供書の作成 第42回京都病院学会 2007. 6. 10, 京都.
17. 渡邊信佳, 吉野信之, 福田幸久, 藤田信彦, 荒井義之: 膝窩囊腫の像を呈して発症した滑膜骨軟骨腫症の1例 第32回日本膝関節学会 2007. 6. 14-16, 札幌.
18. 平井 誠, 瓦葺健太郎, 榊原毅彦, 松井淳琪, 山木垂水: 破裂脳動脈瘤症例に対

- する積極的脳平温療法について 第 21 回日本神経救急学会 2007. 6. 16, 京都.
19. 谷沢かおり, 森口重耶, 田中春子: 下肢手術に使用するクーリング用具の作製と評価, 第 38 回日本看護学会 —看護総合—, 2007. 7. 6-7, 沖縄.
 20. 土居沙織: 患者参加型看護計画実施を試みて, 第 38 回日本看護学会 —看護総合—, 2007. 7. 6-7, 沖縄.
 21. 北川一智, 白数積雄, 吉岡裕司, 松井道宣: C アーム C T を用いた肝癌に対する IVB —使用経験とその有用性について— 第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会 2007. 7. 18-20, 東京.
 22. 横島妙子, 吉岡昌美, 鈴木百合子, 横尾重子: 看護師が認識する転倒・転落予測の判断基準, 第 38 回日本看護学会 —老年看護—, 2007. 9. 14-15, 長崎.
 23. 井口真弓, 佐藤由美子, 飯開喜代子, 奥村真紀子, 萩野知賀子, 松尾佳代子, 岩瀬 豪, 阿部光将: ボタン型カテーテルの管理方法の検討と内視鏡技師の役割, 第 12 回 HEQ 研究会, 2007. 9. 29, 福岡.
 24. 北川一智, 吉岡裕司, 白数積雄, 北野真吾, 渡里 弘: Cone beam CT を用いた肝癌に対する IVR の有用性 第 33 回京都医学会 2007. 9. 30, 京都.
 25. 榊原毅彦, 平井 誠, 山木垂水: 党員における重症頭部外傷の治療戦略 —積極的脳平温療法の有用性 第 33 回京都医学会 2007. 9. 30, 京都.
 26. 岡野 均, 岩瀬 豪, 井口真弓: 在宅ケアの実際、①胃瘻の管理とケア 平成 19 年度京都市身体障害者リハビリテーション関係職員研修事業 2007. 12. 13, 京都.

2008年1月1日～12月31日

原 著

1. Suzuki T, Nishida M, Suzuki Y, Kobayashi K : The imminent healthcare and emergency care crisis in Japan. *Western Journal of Medicine* 9: 91-96, 2008.
2. Suzuki T, Nishida M, Suzuki Y, Kobayashi K, Mahadevan SV : Issues and solutions in introducing western systems to the prehospital care system in Japan. *Western Journal of Emergency Medicine* 9: 166-170, 2008.
3. 尾内善四郎, 山木垂水, 松井道宣 : 介護老人施設におけるインフルエンザ菌の集団発生. *日本老人医学会雑誌* 45: 421-427, 2008.
4. 榊原毅彦, 平井 誠, 山木垂水 : 重症頭部外傷患者に対する体温管理と外科治療の併用例の検討 : 頭部外傷データベース (プロジェクト 2004 における検討) *神経外傷* 31: 193-196, 2008.
5. 田辺茂, 川辺智香, 谷 初美, 南田喜久美 : 脳外科患者のせん妄・不穏の前兆を感じる要因. “あやしい” “起こりそう” を表現する一, 第 39 回日本看護学会 一老年看護一, 94-96, 2008.
6. 山本岳輝, 田中陽子, 南田喜久美 : 在宅で介護する家族の不安とそれに対する援助, 第 39 回日本看護学会 一地域看護一, 100-102, 2008.

総 説

1. 榊原毅彦, 平井 誠, 山木垂水 : EBM に基づくクモ膜下出血診療のガイドライン *救急医学* 32: 1174-1179, 2008.
2. 山木垂水 : 編集にあたって 特集 脳卒中診療の最前線 *救急医学* 32: 1501, 2008.
3. 平井 誠, 榊原毅彦, 山木垂水 : 虚血性脳血管障害の治療 (t-PA 時代を迎えて) rt-PA 使用のガイドライン *救急医学* 32: 1539-1544, 2008.

学会発表

国際学会

1. T. Hata : Less-invasive Coronary Intervention ~From the point of view of Japanese cardiologist~ Joint Interventional Meeting 2008, 2008. 2. 14-16 Rome, Italy.
2. N. Nakachi, S. Asoh, N. Watanabe, S. Ohta, T. Matsushita, S. Takai : Novel FNK rotation protects from cell death and enhances healing after autologous osteochondral transplantation. 54th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society 2008. 3. 2-5 San Francisco, USA.
3. T. Hata : Hot Topics from Asian Pacific and Latin American Regions : Section 3: PCI in Complex Lesions and Patients. China Interventional Therapeutics 2008. 3. 19-23. 2008. Beijing, China.
4. T. Hata : Moderator. Taiwan TRI Seminar 2008 (Advanced Course) 2008. 9. 20 Taiwan.
5. N. Yoshino : Principles of revision TKA. 1st Meeting of Durgical Technique in Total Knee Arthroplasty 2008. 11. 17-18 Tokyo, Japan.

特別講演

1. 吉野信之 : TKA の手術手技 外反変形 第 35 回日本人工関節学会 2008. 2. 23-3. 1, 宜野湾市.
2. 光藤章二 : 消化器内視鏡診療の最前線 —やってきたこと、やりたいこと— 九条カンファランス 2008. 5. 24, 京都.
3. 光藤章二 : FICE による未分化型胃癌の範囲診断 第 1 回分光画像内視鏡研究会 2008. 7. 12, 東京.
4. 岩瀬 豪 : 「PEG をめぐって」 ~地域中核病院の現状と取り組み~ 第 4 回 Kyoto Dook Meeting 2008. 8. 28, 京都.
5. 光藤章二 : 稼動し始めた京都府消化器診断ネットワーク 第 3 回京都府北部平成内視鏡研究会 2008. 11. 29, 京都.

シンポジウム

1. 岩瀬 豪：PEG・ICT・NST を通してみえてきた口腔管理の重要性。要介護者（有病者）における口腔管理シンポジウム 2008. 3. 16, 京都.
2. 榊原毅彦, 山木垂水, 平井 誠：重症頭部外傷における体温管理 —積極的脳平温療法の有用性について— 第31回日本神経外傷学会 2008. 4. 25-26, 大阪.
3. 吉野信之：Revision TKA の際の骨欠損 第33回日本膝関節学会 2008. 6. 13-14, 東京.

パネルディスカッション

1. 井口真弓, 佐藤由美子, 岩瀬 豪, 阿部光将, 岡野 均：地域連携を目指した PEG チームの活動と内視鏡技師の役割 第60回日本消化器内視鏡技師会 2008. 5. 24, 千葉.

一般講演

1. 羽田哲也：従来システムで一度失敗して10ワイヤーで成功したCTO症例 Slender Club Japan in AOMORI 2008. 1. 11, 青森.
2. 羽田哲也：High risk coronary interventions Complex Catheter Therapeutics 2008. 1. 31, 神戸.
3. 友沢明德：中小病院診療所における薬学6年制長期実務実習 受入れへの課題 第29回日本病院薬剤師会近畿学術大会 2008. 2. 9.
4. 竹岡 亨, 森木江美, 稲岡秀陽, 平井誠：脳卒中の予後予測 ～発症時FIMを用いて～第20回下西集団会 2008. 3. 1, 京都.
5. 道下智之：急性期病院における地域医療連携室の役割 ～入院から退院までの連携～第20回下西集団会 2008. 3. 1, 京都.
6. 友沢明德, 堀 真紀, 國永智昭, 和田裕子, 國仲加世子, 三好咲樹：地域連携における薬剤師業務 第20回下西集団会 2008. 3. 1, 京都.
7. 大森浩二, 安田雄司, 岡林秀興, 小笠原宏行, 竹内一実, 南部吉彦, 山下 琢,

- 岩瀬 豪, 清水 聡, 岡田好一, 北田秀司, 楊 寧峰, 橋本毅士, 賀内久弘: 下西療療連携カード (IC カード) について 第 20 回下西集団会 2008. 3. 1, 京都.
8. 竹岡 亨, 稲岡秀陽: 歩行補助具の選択基準について第 43 回日本理学療法学会 2008. 5. 15-17, 福岡.
9. 坂口香織, 道下智之: 「急性期病院における地域医療連携室の役割」～入院前から退院までの支援～ 第 43 回京都病院学会 2008. 6. 8, 京都.
10. 一色 肇, 渡里 弘, 橋本 章, 北野真吾, 今田寿郎, 吉永健二, 高薄憲吾: スロット撮影を用いた長尺撮影の有用性 第 43 回京都病院学会 2008. 6. 8, 京都.
11. 山田温子, 小川明里, 森木江美, 稲岡秀陽: Useful Hand の獲得に向けて 第 43 回京都病院学会 2008. 6. 8, 京都.
12. 渡邊信佳, 吉野信之, 福田幸久, 藤田信彦: 大腿二頭筋腱のループ状移行により Popliteofibular ligament の解剖学的再建を行った 2 例 第 33 回日本膝関節学会 2008. 6. 13-14, 東京.
13. 北川一智: 当院における終末期ガン患者に対する輸液療法: 第 9 回京滋 N S T 研究会 2008. 6. 21, 京都.
14. 平井 誠, 榊原毅彦, 山木垂水, 松井淳琪: 経過観察中に破裂をきたした無症候性未破裂動脈瘤の検討 第 22 回日本神経救急学会 2008. 6. 21, 東京.
15. 小川明里, 竹岡 亨, 稲岡秀陽, 平井 誠, 榊原毅彦: 脳卒中の予後予測～発症時 FIM を用いて～ 第 11 回日本病院脳神経外科学会 2008. 7. 19-20, 札幌.
16. 北川一智, 白数積雄, 吉岡祐司, 甲原純二: コンビーム C T による肝癌の診断と治療 第 39 回京都肝癌セミナー, 京都.
17. 羽田哲也: 従来のシステムで一度不成功に終わり 10 ワイヤシステムで成功した C T O 症例 TOPIC 2008. 東京.
18. 岸本綾子, 稲岡秀陽: 急性期と維持期における摂食嚥下障害の改善の相違について第 14 回 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 2008. 9. 13-14, 千葉.
19. 田辺 茂, 川辺智香, 谷 初美, 南田喜久美: 脳外科患者のせん妄・不穏の前兆

- を感じる要因 —“あやしい”“起こりそう”を表現する—, 第39回日本看護学会 —老年看護—, 2008. 9. 18-19, 徳島.
20. 竹岡 亨, 稲岡秀陽: 高齢者の脊椎アライメントの特徴と運動機能の関連性 第63回日本体力医学会 2008. 9. 18-20, 大分.
21. 井口真弓, 佐藤由美子, 光藤章二, 岩瀬 豪, 大門由紀子, 岡野 均: 当院における在宅の胃瘻管理の現状～胃瘻相談窓口に寄せられた相談から見てきたもの～ 第13回HEQ (Home Health Care, Endoscopic Therapy and Quality of Life) 研究会 2008. 9. 20, 東京.
22. 榊原毅彦, 平井 誠, 山木垂水: 一般救急病院における脳神経外科医の役割と問題点 社団法人日本脳神経外科学会 第67回学術総会 2008. 10. 1-3, 盛岡.
23. 山本岳輝, 田中陽子, 南田喜久美: 在宅で介護する家族の不安とそれに対する援助, 第39回日本看護学会 —地域看護—, 2008. 10. 10-11, 静岡.
24. 平井 誠, 榊原毅彦, 山木垂水, 松井淳琪: 重症脳卒中に対する積極的脳平温療法について 第36回日本救急医学会総会 2008. 10. 13-15, 札幌.
25. 北川一智, 山木垂水, 松井淳琪: 救急医療における入院時体重測定に関する検討 第36回日本救急医学会総会 2008. 10. 13-15, 札幌.
26. 竹岡 亨, 稲岡秀陽: 高齢者の脊椎アライメントと重心位置および重心動揺の関連性 第48回近畿理学療法学会 2008. 11. 2, 大阪.

2009年1月1日～12月31日

総 説

1. 榊原毅彦, 山木垂水, 平井 誠: テント上下に及ぶ外傷性急性硬膜外血腫の手術基本をマスター 脳神経外科手術のスタンダード 脳神経外科速報 19: 622-627, 2009.
2. 山木垂水: 外来待合室はシンフォニーホール {特別企画} 患者が集まる待合室を考える 月刊新医療 416: 109-111, 2009.
3. Suzuki Y, Urashima M, Yoshida H, Iwase T, Kura T, Imazato S, Kudo M, Ohta T, Mizuhara A, Tamamori Y, Matumura H, Nishiguchi Y, Nishiyama Y, Takahashi M, Nishiwaki S, Matsumoto M, Goshi S, Sakamoto S, Uchida N, Iijima M, Ogawa T, Shimazaki M, Takei S, Kimura C, Yamashita S, Endo T, Nakahori M, Itoh A, Kusakabe T, Ishizuka I, Iiri T, Fukusawa S, Arimoto Y, Kajitani N, Ishida K, Onishi K, Taira A, Kobayashi M, Itano Y and Kobuke T: The sky method as a screening test to detect misplacement of percutaneous endoscopic gastrostomy tube at exchange Internal Medicine 48: 2077-2081, 2009.

原 著

1. 光藤章二, 小西英幸, 若林直樹, 吉川敏一: 胃過形成ポリープに対する H. pylori 除菌治療 消化器科 48: 18-23, 2009.

学会発表

国際学会

1. N. Nakachi, S. Asoh, N. Watanabe, S. Ohta, T. Matsushita, S. Takai: Transaction of anti-apoptotic protein, PTD-FNK, inhibits degeneration of cylindrical osteochondral autograft. 55th Annual Meeting of the Orthopedic Research 2009. 2. 22-25 Las Vegas, USA.

2. T. Hata : Successful recanalization using 010 wire. China Interventional Therapeutics 2009, 2009. 3. 19-22. Beijing, China.
3. N. Yoshino : Total knee arthroplasty for valgus knee Advance in Knee Joint Restoration Regional Scientific Conference 2009. 9. 3-6, Hong Kong.

特別講演

1. 光藤章二：「消化器癌の診断と治療 —微小癌から進行癌まで—」第2回九条カンファレンス 2009. 2. 28.
2. 光藤章二：Functional Dyspepsia (FD) の病態と治療 —共同研究プロトコール— 第4回京都北部平成内視鏡研究会 2009. 4. 25, 亀岡.
3. 光藤章二：カプセル内視鏡診断ネットワークの現状と課題 —京都府消化器診断ネットワーク 群馬小腸セミナー 2009. 9. 5, 前橋.
4. 光藤章二：カプセル内視鏡の実際と診断ネットワーク — Fantastic Endoscopic Voyage — 第11回乙訓内科懇話会 2009. 9. 26, 京都.
5. 吉野信之：臨床現場からの提言（インプラント手術後の不具合発生実例とその原因解説）第20回医療用具の強度評価におけるFEA（有限要素解析）シミュレーション活用 2009. 11. 24-26, 川崎.

シンポジウム

1. 光藤章二, 吉川敏一：カプセル内視鏡診断ネットワークの構築と現状 第82回日本消化器内視鏡学会 近畿地方会 2009. 3. 14, 大阪.
2. 榊原毅彦, 山木垂水, 平井 誠：2次救急病院における頭部外傷患者の診断治療のための minimal essential 第32回日本神経外傷学会 2009. 4. 17-18, 下関.

ワークショップ

1. 光藤章二, 吉川敏一：カプセル内視鏡診断ネットワークの現状と課題 第78回日本消化器内視鏡学会総会 2009. 10. 14-17, 京都.

一般演題

1. 中村真紀, 友沢明德, 尾木敦子, 北川一智: 当院における終末期がん患者に対する輸液療法の現状 第24回日本静脈経腸栄養学会 2009. 1. 29-31, 鹿児島.
2. 岩瀬 豪: PEG を通してみえてきた口腔ケアシステムと連携 第24回日本静脈経腸栄養学会 2009. 1. 29-31, 鹿児島.
3. 尾木敦子, 友沢明德, 中村真紀, 岩瀬 豪, 北川一智: 救急医療における入院時スクリーニングに関する検討 第24回日本静脈経腸栄養学会 2009. 1. 29-31, 鹿児島.
4. 北川一智, 岩瀬 豪, 尾木敦子, 中村真紀, 友沢明德, 荒金英樹: 口腔ケアに関する歯科医師会との連携システムの導入 —摂食障害患者における口腔ケアの成功例、失敗例 第24回日本静脈経腸栄養学会 2009. 1. 29-31, 鹿児島.
5. 吉野信之, 渡邊信佳, 藤田信彦, 福田幸久, 高井信朗: 「人口膝関節置換術中の内外側軟部組織の力学的特性」について 第39回日本人工関節学会 2009. 2. 13-14, 東京.
6. 名西健二, 野田哲平, 松井淳琪: リスリドンの多量服用後にショックを来たした一例 第36回日本集中治療医学会学術集会 2009. 2. 26-28, 大阪.
7. 森木江美, 稲岡秀陽: 退院前訪問指導についての実態調査 第21回下西集談会 2009. 3. 7, 京都.
8. 北川一智, 尾木敦子, 中村真紀, 岩瀬 豪: 当院における口腔ケア —南口腔ケアセンターとの地域連携— 第21回下西集談会 2009. 3. 7, 京都.
9. 今田寿郎, 渡里 弘, 岩瀬 豪, 光藤章二: 当院における食道胃静脈瘤CT撮影 第21回下西集談会 2009. 3. 7, 京都.
10. 光藤章二, 大門由紀子, 岩瀬 豪: カプセル内視鏡診断ネットワークの現状 第21回下西集談会 2009. 3. 7, 京都.
11. 光藤章二, 大門由紀子, 岩瀬 豪: 分光画像内視鏡 (Flexible spectral Imaging Color Enhancement: FICE) の臨床応用と有用性 第21回下西集談会 2009. 3. 7, 京都.

12. 森 梢恵, 金川里恵, 南田喜久美: 一般外来看護師が感じる救急外来に来院した患者に必要な看護 第 21 回下西集談会 2009. 3. 7, 京都.
13. 北川一智, 甲原純二, 吉岡裕司, 松井道宣, 谷口弘毅: 脳卒中患者における急性胆嚢炎についての検討 第 109 回日本外科学会定期学術集会 2009. 4. 2-4, 福岡.
14. 羽田哲也: 良い術者になるには 第 3 回日光トランスラディアル研究会 2009. 5. 23. 那須.
15. 竹岡 亨: 高齢者における最大歩行及び時湯歩行速度の関連要因 ~腰椎後彎変形と膝伸展筋力による検討~ 第 44 回日本理学療法学術大会 2009. 5. 28-30, 東京.
16. 森 梢恵, 金川里恵, 南田喜久美: 一般外来看護師が感じる救急外来に来院した患者に必要な看護, 第 44 回京都病院学会, 2009. 6. 14, 京都.
17. 岩永武也: チェックリストとパンフレットを用いた退院指導の有効性, 第 44 回京都病院学会, 2009. 6. 14, 京都.
18. 岡本勝博: 脳内出血後長期経過後よりリハビリ開始し、退院に至った一症例 第 44 回京都病院学会 2009. 6. 14, 京都.
19. 吉野信之: ディベート 2 内側型 O A に対する治療 UKA vs TKA 第 1 回日本関節鏡・膝スポーツ整形外科学会 2009. 6. 25-28, 札幌.
20. 北川一智, 大門由紀子, 寺西ふみ子, 甲原純二, 吉岡裕司, 松井道宣: ソナゾイド造影超音波による肝細胞癌門脈腫瘍栓の診断 —2 症例の経験— 第 45 回日本肝癌研究会 2009. 7. 3-4, 福岡.
21. 人見千愛, 古田麻奈, 江端雅之, 南田喜久美: 人工膝関節置換術後患者が直面する困難 困難の回避に向けた退院指導に向けて一, 第 40 回日本看護学会 一看護総合一, 2009. 7. 18-19, 京都.
22. 花房亜弓, 南田喜久美: 禁煙外来患者の禁煙成功に至るまでの心理と行動変容 —1 事例への禁煙指導を通して一, 第 40 回日本看護学会 一看護総合一, 2009. 7. 18-19, 京都.
23. 光藤章二, 岩瀬 豪, 井上 健, 若林直樹, 吉川敏一: カプセル内視鏡 (CE) による原因不明の消化管出血 (OGIB) の診断と課題 第 2 回日本カプセル内視

- 鏡研究会 2009. 7. 26, 東京.
24. 小川貴弘：ASO を合併した透析患者に LDL アフェレーシスを実施した 1 症例
第 42 回京都透析懇話会 2009. 8. 30, 京都.
 25. 竹岡 亨：高齢者の脊椎アライメント変化が保養に及ぼす影響 第 64 回日本体力
医学会 2009. 9. 18-20, 新潟.
 26. 奥田隆史, 藤野誠司, 原田大司, 奥田孝太郎, 山内紀人, 渡邊 正, 小牧稔之,
香川恵造, 光藤章二, 吉川敏一：カプセル内視鏡で興味ある所見が得られた日本海
裂頭条虫症の一例 第 83 回日本消化器内視鏡学会近畿地方会 2009. 9. 19, 京都.
 27. 甲原純二, 北川一智, 吉岡裕司, 山木垂水：骨盤部 C T にて術前に診断しえた閉
鎖孔ヘルニアの一例 第 35 回京都医学会 2009. 9. 27, 京都.
 28. 榊原毅彦, 平井 誠, 山木垂水：積極的脳平温療法の有用性—脳低体温療法に代
わる体温管理— 第 68 回日本脳神経外科学会総会 2009. 10. 14-16, 東京.
 29. 川本百合香, 松本美江, 遠藤みそめ, 長谷川康子, 高橋美香, 南田喜久美, 平井 誠,
榊原毅彦, 山木垂水：一般病院の脳卒中センターにおけるチーム医療について 第
68 回日本脳神経外科学会総会 2009. 10. 14-16, 東京.
 30. 北川一智, 吉岡裕司, 甲原純二, 松井道宣：直腸癌に合併した腭扁平上皮癌の一
例 第 186 回近畿外科学会 2009. 11. 7, 大阪.
 31. 羽田哲也：Slender PCI の現状 第 10 回嵐山カンファレンス 2009. 11. 14, 京都.
 32. 吉野信之：ギャップテクニックならびにリファレンスの実際と限界 人工関節を
語る若手研究会 2009. 11. 21, 横浜.
 33. 秦 亮嘉, 羽田哲也, 元廣将之, 野田哲平：若年者の急性心筋梗塞 第 30 回関西
心臓カテーテル研究会, 大阪.
 34. 外山拓也, 竹岡 亨, 岡本勝博, 稲岡秀陽：人工膝関節置換術施行患者における
在院日数に影響を与える要因について 第 49 回近畿理学療法学会 2009. 11.
22, 兵庫.
 35. 楠崎克之：アクリジンオレンジを用いた光線および放射線力学的治療法の手技

—どの施設でもできる普及型の手技説明を含む— 第1回アクリジンオレンジ治療
研究会 2009. 11. 28, 京都.

36. 北川一智：小腸内視鏡で診断、治療を後に手術となった小腸狭窄の1症例 第22
回日本内視鏡外科学会総会 2009. 12. 3, 東京.

37. 尾内善四郎, 増山朱美, 山木垂水, 松井道宣：高齢者肥満患者の体組織と血液生
化学所見 第20回日本老年学会近畿地方会 2009. 12. 5, 大阪.

2010年1月1日～12月31日

著 書

1. 光藤章二：NSAIDs 胃潰瘍，胃腺腫，早期胃癌－8，早期胃癌－9，早期胃癌－10，早期胃癌－11，早期胃癌－12，早期胃癌－17，早期直腸癌－2 の項，分光画像内視鏡研究会（編），消化器疾患鑑別のための分光画像内視鏡カラーアトラス，加藤文明社，東京，2010.

原 著

1. Senoo,T, Motohiro, M, Kamihata, H, Yamamoto S, Isono, T, Manabe, K, Sakuma, T, Yoshida, S, Sutani, Y, Iwasaka, T : Contrast-induced nephropathy in patients undergoing emergency percutaneous coronary intervention for acute coronary syndrome. The American Journal of Cardiology 105: 624-628, 2010.
2. Motohiro, M, Tsujimoto, S, Seno, T, Manabe, K, Isono, T, Sutani, Y, Yuasa, F, Iwasaka, T : A new protocol using sodium bicarbonate for the prevention of contrast-induced nephropathy in patients undergoing coronary angiography. Am J Cardiology, 2011.

学会発表

国際学会

1. Hata, T : Successful recanalization using . 010 wire. China Interventional Therapeutics 2010, 2010. 4. 1-4. 3, Beijing, China.
2. Hata. T : Case presentation. Kansai Kyungsang-do Intervention Summit 2010, 2010. 8. 7-8. 8, Kobe.
3. Kusuzaki K, Hosogi S, Matsubara T, Satonaka H, Nakamura T, Matsumine A, Marunaka Y: Translatioal research of photodynamic therapy with acridine orange

which targets acidic vesicles and environment of cancer cells. 1st Symposium of the International Society for Proton Dynamics in Cancer 2010. 9. 27-28, Rome, Italy.

4. Kusuzaki K : Acridine organe with photon energy could be innovative cancer therapy. International Symposium on Advanced Biotechnologies and Instrumentations 2010. 10. 23-24 ShangHai, China.
5. Yoshino N. : Preserving the Posterior Cruciate Ligament. A Novel Implant Solution Pre Current Concept in Joint Replacement, 2010. 12. 5-11, Florida, USA.

特別講演

1. 光藤章二 : Functional Dyspepsia (FD) における QOL 評価 第 6 回京都北部平成内視鏡研究会 2010. 4. 24, 宮津.
2. 光藤章二 : 急性胆嚢炎の (超) 急性期治療、内科サイドから「内視鏡的経乳頭的ドレナージ」 第 3 回九条カンファレンス 2010. 6. 5, 京都.
3. 北川一智 : 急性胆嚢炎の (超) 急性期治療、外科サイドから「早期手術について - 0 日目の手術は有効か? 急性胆嚢炎の (超) 急性期治療、内科サイドから「内視鏡的経乳頭的ドレナージ」 第 3 回九条カンファレンス 2010. 6. 5, 京都.
4. 羽田哲也 : 動脈硬化とプラーク形成 Hachinohe Cardiovascular Co-medical Conference, 2010. 7. 9-10, 青森.
5. 北川一智 : NST 活動と地域 NST (栄養管理) の提案 下西医療福祉交流ネットワーク委員会 2010. 8. 28, 京都.
6. 楠崎克之 : 軟部腫瘍の治療 第 26 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍特別研修会 2010. 10. 15, 京都.
7. 楠崎克之 : アクリジンオレンジと体外エネルギーの併用によるライソゾーム標的がん治療の現状と今後 第 6 回甲信骨軟骨部腫瘍研究会 2010. 11. 13, 甲府.
8. 楠崎克之, 細木誠之, 芦原英司, 中島謙一, 新里直美, 丸中良典 : アクリジンオレンジを用いた光線力学的治療法により誘発されるがん細胞のアポトーシスにおける細胞膜の形態変化 日本膜学会 膜シンポジウム 2010 2010. 11. 19-20, 京都.

9. 光藤章二：抗血小板薬と PPI 併用に関する最近の話題 第 7 回京都北部平成内視鏡研究会.

シンポジウム

1. 榊原毅彦, 平井 誠, 山木垂水：重症頭部外傷における積極的脳平温療法の有用性 —脳低温療法に変わる体温管理— 第 33 回日本脳神経外傷学会 2010. 3. 5-6, 東京.
2. 光藤章二, 吉川敏一：カプセル内視鏡 (CE) 診断ネットワークにおける施設別検査成績の比較 第 79 回日本消化器内視鏡学会総会 2010. 5. 13-15, 東京.

一般演題

1. 山田千央, 田邊聡史, 竹岡 亨, 土肥正樹, 稲岡秀陽：大腿四頭筋・膝蓋腱の走行角度と脛骨大腿角との関連性 (第一報) 第 21 回京都府理学療法士会学会 2012. 1. 23, 京都.
2. 友沢明德, 國中加世子, 北川一智, 岩瀬 豪, 中村真紀, 尾木敦子：摂食嚥下障害に關与する薬物のスクリーニングによる潜在的リスク低減の試み 第 25 回日本静脈経腸栄養学会 2010. 2. 25-26, 千葉.
3. 北川一智, 岩瀬 豪, 中村真紀, 尾木敦子, 友沢明德：中規模病院に置ける摂食嚥下困難患者の治療について 第 25 回日本静脈経腸栄養学会 2010. 2. 25-26, 千葉.
4. 渡邊信佳, 吉野信之, 福田幸久, 藤田信彦, 楠崎克之, 松井淳琪：C R 型人工関節全置換術後における内外反動揺の経時的变化 第 40 回日本人工関節学会 2010. 2. 26-27, 宜野湾市.
5. 平井 誠, 榊原毅彦, 松井淳琪, 山木垂水：t-PA 静注療法後に中大脳動脈の急性閉塞を来たした一例 第 15 回日本脳神経外科救急学会 2010. 2. 26-27, 東京.
6. 竹岡 亨, 外山拓也, 稲岡秀陽：術前こわばり感が人工膝関節置換術後に及ぼす影響第 22 回下西集団会 2010. 3. 6, 京都.
7. 人見千愛, 南田喜久美：人股関節置換術後患者が直面する困難～困難の回避に向けた退院指導に向けて～ 第 22 回下西集団会 2010. 3. 6, 京都.

8. 北川一智, 甲原純二, 吉岡裕司, 松井道宣, 光藤章二, 岩瀬 豪, 大門由紀子 : 小腸内視鏡で診断を行い腹腔鏡下手術を施行した小腸疾患の2症例 第22回下西集
団会 2010. 3. 6, 京都.
9. 秦 亮嘉, 松井淳琪, 松井寿美 : 若年発症の急性心筋梗塞の一例 第37回日本集
中治療医学会学術集会 2010. 3. 4-6, 広島.
10. 松井淳琪, 松井寿美 : 救急搬入時における栄養(体重)評価の取り組み 第37回
日本集中治療医学会学術集会 2010. 3. 4-6, 広島.
11. 羽田哲也 : 多枝疾患に対して4Fガイドカテーテルを用いてDESを植え込んだ症
例 Slender Club Japan 20th Meeting & Video Live Demonstration in Tokyo 2010. 4.
10, 東京.
12. 竹岡 亨 : 高齢者の転倒リスク因子に関する検討 ~脊椎アライメントとその可
動性に着目して~ 第45回日本理学療法学会学術大会 2010. 5. 27-29, 岐阜.
13. 稲岡秀陽 : 平成20年度診療報酬改定が及ぼした影響 第45回日本理学療法学会
大会 2010. 5. 27-29, 岐阜.
14. 外山拓也, 稲岡秀陽, 竹岡 亨 : 人工膝関節置換術患者が在院日数に影響を与え
る要因(第一報) 第45回 日本理学療法学会学術大会 2010. 5. 27-29, 東京.
15. 坂東みそめ, 川本百合香 : 一般救急病院の脳卒中センターにおけるチーム医療に
ついて 第45回京都病院学会 2010. 6. 13, 京都.
16. 尾内善四郎, 増山朱美, 日比 茜, 山木垂水, 松井道宣 : 要介助高齢者の体組成
第52回日本老年医学会学術集会・総会 2010. 6. 24-26, 神戸.
17. 榊原毅彦, 平井 誠, 山木垂水 : 重症脳損傷に対する積極的脳平温療法の有用性
—脳低温療法に変わる体温管理— 第13回日本脳低温療法学会 2010.7.2-3, 大阪.
18. 小川加奈美, 川本百合香, 芦澤暁子, 南田喜久美, 榊原毅彦, 平井 誠, 山木垂水 :
積極的脳平温療法後の有用な体温管理 第13回日本脳低温療法学会 2010. 7. 2-3,
大阪.
19. 北川一智 : 多発性肝転移をきたした腭扁平上皮癌の一例 第65回日本消化器外科
学会総会 2010. 7. 14, 下関.

20. 羽田哲也：前下行枝と対角枝の完全閉塞病変に対する PCI Slender Cub Japan 25th Meeting 2010. 8. 3, 青森.
21. 黒金さやか, 日笠雅子, 南田喜久美：癌の告知を受けた患者とその家族の心理, 第 41 回 日本看護学会 —成人看護Ⅱ—, 2010. 8. 31-9. 1, 福岡.
22. 有江樹理, 平岡恵理菜, 森脇みさお, 南田喜久美：脳神経外科患者のせん妄・不穏状態チェックリストの有用性, 第 41 回日本看護学会 —老年看護—, 2010. 9. 10-11, 奈良.
23. 尾内善四郎, 増山朱美, 北村紀子, 山木垂水, 岩瀬 豪, 松井道宣：要介護高齢者の体組成 第 36 回京都医学会 2010. 9. 26, 京都.
24. 榊原毅彦, 山木垂水, 平井 誠, 松井淳琪：蘇生後脳症に対する積極的脳平温療法の有効性 第 36 回京都医学会 2010. 9. 26, 京都.
25. 小林厚美, 南田喜久美：訪問看護における利用者、家族が求めるサービスと看護師がアセスメントする利用者に必要なサービスに焦点をあてて, 第 41 回日本看護学会 —地域看護—, 2010. 10. 14-15, 滋賀.
26. 安川直道, 土肥正樹, 稲岡秀陽：頭部外傷患者の離床に難渋した一症例 京都府理学療法士協会新人症例発表会 2010. 10. 17, 京都.
27. 北川一智：内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージの後に腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した急性胆嚢炎の 2 例 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010. 10. 18-20, 横浜.
28. 光藤章二：内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージ (ENDGBD) 第 7 回京都北部平成内視鏡研究会 2010. 10. 30, 福知山.
29. 友沢明德：施設の特徴を生かして相互交換による グループ実習を実施した一例 第 60 回日本薬学会近畿支部総会・大会 2010. 10. 30.
30. 岩瀬 豪, 大門由紀子, 光藤章二：CE と CBE が診断に有用であった好酸球性胃炎の 1 例 銀杏会学術集談会 2010. 11. 3, 京都.
31. 友沢明德：地域の薬剤師を一つに ～下京南薬剤師会の目指すもの～ 第 16 回近畿薬剤師大会 2010. 11. 7.

32. 吉野信之：特別企画（あの症例は今） 第11回 TKA Forum 2010. 12. 3, 東京.
33. 平井 誠, 榊原毅彦, 松井淳琪, 山木垂水：rt-PA 静脈療法無効／適応外の脳主幹動脈閉塞を伴った急性期脳梗塞の治療戦略 第26回日本神経血管内治療学会学術総会 2010. 11. 18-20, 小倉.
34. 岩瀬 豪, 光藤章二, 井上 健, 吉川敏一：胃瘻管理の現状と新たな PEG 適応の提案 第7回日本消化管学会総会学術集会 2011. 2. 18-19, 京都.
35. 岩瀬 豪, 北川一智, 友沢明德, 稲岡秀陽, 高安郁代, 中村真紀, 尾木敦子, 國中加世子, 大門由紀子, 岩佐麻美子：FIM を考慮した PEG の適応について 第26回日本静脈経腸栄養学会 2011. 2. 26-2. 28, 名古屋.
36. 榊原毅彦, 平井 誠, 松井淳琪, 北川一智, 山木垂水：脳死を経て心臓死後臓器移植の経験 第103回日本救急医学会近畿地方会 2011. 3. 5, 京都.
37. 岩瀬 豪, 光藤章二, 井上 健, 吉川敏一：CEとDBEが診断に有用であった好酸球性胃腸炎の1例 第86回日本消化器内視鏡学会近畿地方会 2011. 3. 12, 京都.
38. 森康二郎, 飯田貴弥, 竹村俊樹, 落合 淳, 光藤章二, 福本晃平, 若林直樹, 吉川敏一：腸重積を発症しカプセル内視鏡で小腸ポリープを確認できた Peutz-Jeghers 症候群の一例 第86回日本消化器内視鏡学会近畿地方会 2011. 3. 12, 京都.

2011年1月1日～12月31日

英文論文

1. Suzuki, Y, Tamez, Seryna, Murakami, A, Taira A, Mizuhara, A, Horiuchi, A, Mihara, C, Ako, E, Muramatsu, H, Okano, H, Suenaga, H, Jomoto, K, Kobayashi, J, Takifuji, K, Akiyama, K, Tahara, K, Onishi, K, Shimazaki, M, Matsumoto, M, Iijima, M, Murakami, M, Nakahori, M, Kudo, M, Maruyama, M, Takahashi, M, Washizawa, N, Onozawa, S, Iiri, T, Nagahara, T, Hikichi, T, Mikami, T, Yamamoto, T, Ogawa, T, Ogawa, T, Ohta, T, Matsumoto, T, Kura, T, Kikuchi, T, Iwase, T, Tsuji, T, Nishiguchi, Y, Urashima, M : Survival of geriatric patients after percutaneous endoscopic gastrostomy in Japan World J Gastroenterol 28;16 (40) : 5084-5091, 2010

原 著

1. 南田喜久美：退院支援の充実を目指した地域連携室の早期退院支援，地域連携入退院支援，日総研，PP16-23，2011.5・6月号。
2. 尾内善四郎，北村紀子，山木垂水，岩瀬 豪，松井道宣：要介護高齢者における体組成 京都医学会雑誌 58：77-83，2011。
3. 平嶋良章，今村俊彦，山下哲史，古谷明代，内藤岳史，石田宏之，森本 哲，坂上順一，若林直樹，光藤章二，細井 創：ダブルバルーン小腸内視鏡にて診断・止血しえた、同種造血幹細胞移植後の多発性小腸潰瘍による症腸出血の7歳男児例 日小血会誌 25：140-145，2011.08.08。
4. 南田喜久美，坂東みそめ：緊急搬送手術における家族説明・同意，実践安全手術看護，日総研，PP39-41，2011.11・12月号。
5. Satonaka H, Kusuzaki K, Akeda K, TSsujii M, Iino T, Uemura T, Matsubara T, Nakamura T, Asanuma K, Matsumine A, Sudo A : Acridine orange inhibits pulmonary metastasis of mouse osteosarcoma Anticancer Research 31 : 4163-4168, 2011.

学会主催

1. 山木垂水：第34回日本脳神経外傷学会 2011. 4. 15-16, 京都（誌上開催）.
2. 楠崎克之：第1回がんイオノミックス研究会 2011. 11. 5, 京都.
3. 楠崎克之：第3回アクリジンオレンジ治療研究会 2011. 11. 5, 京都.

学会発表

国際学会

1. Kusuzaki, K: Acridine orange therapy on cancer. Italy/Japan Jjoint meeting on cancer research in Kyoto 2011 2011. 11. 4, Kyoto.

特別講演

1. 光藤章二：早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ除菌療法について 第8回京都北部平成内視鏡研究会 2011. 4. 16, 綾部市（京都）.
2. 楠崎克之：悪性骨軟部腫瘍に対するアクリジンオレンジ治療法 —基礎研究から臨床応用へ— 倶進会県北支部学術講演会 2011. 5. 14, 大和市（神奈川）.
3. 光藤章二：小腸疾患臨床の最前線 —NSAIDs 起因性小腸粘膜障害から life-threatening bleeding まで— 第4回九条カンファレンス 2011. 7. 9, 京都市.
4. 光藤章二：GERD の薬物治療 ～食道内 pH& インピーダンスモニタリングからみたエビデンス～ Kyoto Gastroenterological Network 2011. 8. 27, 京都.
5. 松原孝夫, 松峯昭彦, 中村知樹, 浅沼邦洋, 須藤啓広, 楠崎克之：悪性軟部腫瘍におけるアクリジンオレンジ療法至適症例の検討 第3回アクリジンオレンジ治療研究会 2011. 11. 5, 京都.
6. 光藤章二：PPI 治療の Next Millennium 第9回京都北部平成内視鏡研究会 2011. 11. 5, 福知山.
7. 光藤章二：カプセル内視鏡診断ネットワーク —身近に潜む症腸疾患— 京都消化器会総合画像診断症例検討会（105回）, 2011. 12. 3, 京都.

8. 光藤章二：PPI 治療の Next Millennium S.S NEXT PPI Meeting 2011. 12. 10, 京都.

シンポジウム

1. 高橋美香, 芦澤暁子, 南田喜久美, 平井 誠, 村上 守, 榊原毅彦, 山木垂水：京都九条病院における脳神経外傷患者の看護とチーム連携 第34回日本脳神経外傷学会 2011. 4. 15-16, 京都 (誌上発表).
2. 榊原毅彦, 平井 誠, 村上 守, 山木垂水：重症頭部外傷の治療方針 —手術と体温管理を中心とした全身管理の有用性— 社団法人日本脳神経外科学会 第70回総会 2011. 10. 12-14, 横浜.

ワークショップ

1. 光藤章二, 井上 健, 吉川敏一：臨床検査技師による内視鏡診断のダブルチェック・システム —ダブルチェックは必要か?— 第7回日本消化管学会総会学術集会 2011. 2. 18-19, 京都.

パネルディスカッション

1. 楠崎克之, 松原孝夫, 里中東彦, 中村知樹, 松峯昭彦, 須藤啓広, 内田淳正：アクリジンオレンジを用いた分子イメージングの低侵襲外科手術への応用 第44回日本整形外科骨・軟骨腫瘍学術集会／サテライトシンポジウム 2011. 7. 14-16, 京都.

一般演題

1. 友沢明德：地域の薬剤師を一つに ～下京南薬剤師会の目指すもの～ 第23回下西集談会, 2011. 3. 5.
2. 竹岡 亨, 稲岡秀陽：京都九条病院整形外科分野におけるリハビリテーションの現状と課題 下西集談会 2011. 3. 5, 京都.
3. 平井 誠, 村上 守, 榊原毅彦, 松井淳琪, 山木垂水：「thin subdural hematoma」の検討 第34回日本脳神経外傷学会 2011. 4. 15-16, 京都 (誌上発表).
4. 村上 守, 塚原徹也, 新井大輔, 山口 将, 堤 貴彦, 金子一郎：外傷性 CCF の一治療例 第34回日本脳神経外傷学会 2011. 4. 15-16, 京都 (誌上発表).

5. 竹岡 亨, 稲岡秀陽: 廃用症候群の予後予測 第46回日本理学療法学会
2011. 5. 27-29, 宮崎.
6. 田邊聡史, 竹岡 亨, 山田千央, 稲岡秀陽: 大腿四頭筋・膝蓋腱の走行角度と膝
伸展筋力の関連性 第46回日本理学療法学会 2011. 5. 27-29, 宮崎.
7. 竹岡 亨, 稲岡秀陽: 高次脳機能障害の機能的予後について 第46回京都病院学
会 2011. 6. 12, 京都.
8. 高薄憲吾, 吉永健二, 山口隼人, 渡里 弘: トモシンセンスにおける再構成パラ
メーターの検討 第46回京都病院学会 2011. 6. 12, 京都.
9. 羽田哲也: 地域医療格差の諸問題(京都・大阪・神戸を中心として) SLENDER
CLUB JAPAN Mini Live Demonstration 2011. 8. 4, 青森.
10. 中山雅臣, 奥田孝太郎, 大門由紀子, 岩瀬 豪, 光藤章二, 小西英幸, 八木信明,
内藤裕二: 小腸イレウスで発症した回腸子宮内膜症の一例 日本消化器学会近畿支
部 第95回例会 2011. 8. 20, 大阪.
11. 八木なぎさ, 萩野知賀子, 中村博美, 南田喜久美: 外来看護師・訪問看護師がそ
れぞれに提供を望む情報 一円滑かつ効果的な継続看護にむけて— 第42回日本看
護学会 2011. 8. 25-26, 高松.
12. 中山雅臣, 奥田孝太郎, 岩瀬 豪, 光藤章二, 小西英幸, 八木信明, 内藤裕二:
小腸海綿状血管腫の一例 第87回日本消化器内視鏡学会近畿地方会 2011. 10. 1,
神戸.
13. 中山正臣, 奥田孝太郎, 大門由紀子, 岩瀬 豪, 光藤章二, 須知健太郎, 甲原純二,
北川一智, 吉岡裕司, 山木垂水: ダブルバルーン小腸内視鏡が有用であった腸閉塞
の1例 第37回京都医学会 2011. 10. 2, 京都.
14. 甲原純二, 北川一智, 須知健太郎, 吉岡裕司, 光藤章二, 岩瀬 豪, 大門由紀子,
奥田孝太郎, 中山雅臣, 松井道宣: 腹腔鏡手術にて治療した小腸子宮内膜症の1症
例 第37回京都医学会 2011. 10. 2, 京都.
15. 高橋美香, 芦澤暁子, 山木垂水, 榊原毅彦, 平井 誠, 村上 守: 京都九条病院
における脳神経外科 救急のチーム連携 社団法人日本脳神経外科学会 第70回総
会 2011. 10. 12-14, 横浜.

16. 小川加奈美, 川本百合子, 芦澤暁子, 南田喜久美, 山木垂水, 榊原毅彦, 平井 誠, 村上 守: 積極的脳平温療法の看護の実際 社団法人日本脳神経外科学会 第70回総会 2011. 10. 12-14, 横浜.
17. 榊原毅彦, 平井 誠, 村上 守, 北川一智, 松井淳琪, 松井道宣, 山木垂水: 2次救急病院におけるチーム医療の構築の重要性 第39回日本救急医学会総会 2011. 10. 18-20, 東京.
18. 北川一智, 須知健太郎, 甲原純二, 吉岡裕司, 松井道宣: 後天性血友病を伴った下行結腸癌の1例 第9回日本消化器外科学会大会 2011. 10. 20-23, 福岡.
19. 佐久間孝雄, 羽田哲也, 中小路知大, 妹尾 健, 神畠 宏, 岩坂壽二: LITA へのPCI 施行時に椎骨動脈解離を来した1症例 第17回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会 2011. 10. 22, 大阪.
20. 里中東彦, 明田浩司, 辻井雅也, 飯野隆大, 中村知樹, 松原孝夫, 浅沼邦洋, 松峯昭彦, 須藤啓広, 楠崎克之: アクリジンオレンジはマウス骨肉腫の肺転移を抑制する 第3回アクリジンオレンジ治療研究会 2011. 11. 5 京都.
21. 今西隆夫, 明田浩司, 松峯昭彦, 浅沼邦洋, 松原孝夫, 中村知樹, 楠崎克之: 殺腫瘍効果を有する骨充填材料の開発 第3回アクリジンオレンジ治療研究会 2011. 11. 5 京都.
22. 中山雅臣: 術後腸閉塞に対しダブルバルーン内視鏡を施行した1例 第9回京都北部平成内視鏡研究会 2011. 11. 5, 福知山.
23. 門由起子, 稲岡秀陽: 高次脳機能障害患者が自宅退院を困難にしている一要因 第35回日本高次脳機能障害学会学術総会 2011. 11. 11-13, 鹿児島.
24. 高安郁代: 口腔ケアの地域連携とその役割, 日本プライマリ・ケア連合学会第25回近畿地方会, 2011. 11. 20, 大阪.
25. 友沢明德: お薬手帳を活用した入退院時薬剤情報管理と地域連携の課題 日本プライマリ・ケア連合学会 第25回近畿地方会 2011. 11. 20.
26. 門由起子, 稲岡秀陽: 高次脳機能障害患者が自宅退院を困難にしている一要因 第35回 日本高次脳機能障害学会 (旧日本失語症学会) 学術総会 2011. 11. 11-12, 鹿児島.

27. 稲岡秀陽：地域急性期病院が短期入所生活介護を増築棟に新設 ～利用者状況第一報～ 日本プライマリ・ケア連合学会第25回近畿地方会 2011. 11. 20, 大阪.
28. 村上 守, 平井 誠, 榊原毅彦, 山木垂水：後頭蓋窩未破裂脳動脈瘤に対する瘤内塞栓術後CTにて一過性に硬膜下血腫様の像を認めた1例 第27回日本脳神経血管内治療学会総会 2011. 11. 24-26, 千葉.
29. 平井 誠, 村上 守, 榊原毅彦, 松井淳琪, 山木垂水：rt-PA 静注療法無効 / 適応外の脳主幹動脈閉塞を伴った急性期脳梗塞の治療 第27回日本脳神経血管内治療学会総会 2011. 11. 24-26, 千葉.
30. 中山雅臣：症例検討 京都消化器会総合画像診断症例検討会（105回）2011. 12. 3, 京都.
31. 須知健太郎, 北川一智：安全で平易な単孔式腹腔鏡下虫垂切除術の導入 第29回日本内視鏡外科学会 2011. 12. 7-9, 大阪.
32. 須知健太郎, 北川一智, 甲原純二, 吉岡裕司, 松井道宣：腹腔鏡下に腹壁癒痕ヘルニア修復とソケイヘルニア修復（TAPP）を同時施行した1症例 第6回関西ヘルニア研究会 2011. 12. 10, 大阪.

京都九条病院 年報

2012年12月 発行

発行者 医療法人同仁会（社団）京都九条病院
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10番地
電話 京都 075（691）7121
